

2022年度 日本工学院専門学校											
放送芸術科											
番組制作 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	笹本 篤			実務経験	有	職種	映像編集				
担当教員紹介											
放送業界で編集・後処理業務に従事していたIMAGICAほか											
授業概要											
この授業では、個人ワークやグループワークを採り入れる。特にグループワークでは他人に気を遣い過ぎず、まず他人を傷つけることなく自分の意見を上手に伝えること、さらに相手の話をきちんと最後まで聞き、すぐに否定せず理解することを促す。そしてチームの意見としてまとめる努力をする。決して答えがあるわけではない映像制作を使い、習慣づけることを狙いとする。ワーク内容は映像制作とし、CMやオリジナル映像の制作を主にiPadを使用して行う。											
到達目標											
マルチ人材を求められる現在の映像制作現場において、一人で＜企画・撮影・編集＞をするスキルが求められる。この授業では、個別のスキルを学習する実習と違い、映像制作のワークフローを自らが実践することで企画段階で求められること、撮影時に求められること、編集段階で求められることを体感する。これにより各分野の前後で必要なことを把握し、自身の専門分野の作業意義を見出すことを目標とする											
授業方法											
この授業では、ZOOMによるオンライン授業形態で行う 教員は課題の冒頭で趣旨説明を行い、学生は一人の映像クリエイターとして映像制作の受注をする形式で課題を受ける 課題提示→企画・撮影・編集→提出の段階を経て、提出作品の講評を行う											
成績評価方法											
課題 平常点	100% 加点対象	授業内に提出する映像制作課題を評価する 授業理解度や積極性を考慮して加点対象とする									
履修上の注意											
この授業では入学時に教材として購入したiPadを使用することを前提とする。 自宅にPCや撮影機材・編集ソフトがある場合も想定されるが、基本的にはそれらに由来するクオリティを評価しない。 提示された課題へのアイデアや、学んだ撮影手法を積極的に取り入れることなどによる 総合的な作品内容を評価する。 授業時数の4分の3以上出席しない者はD評価とする。											
教科書教材											
・ iPad											
回数	授業計画										
第1回	映像制作の企画に関する知識・理解①/ 映像制作のワークフロー説明 企画立案におけるアイデア出し										
第2回	映像制作の企画に関する知識・理解②/ 映像制作のワークフロー説明 撮影時に気をつけること										
第3回	iPad操作説明/ 映像制作に必要な撮影方法、編集方法を理解する										
第4回	課題提示①/ 映像作品のオリエンテーションを行い、学生へ発注意図を説明										
第5回	企画 立案（課題に対して 個々で企画を考え、絵コンテや企画書を作成する）										

2022年度 日本工学院専門学校	
放送芸術科	
番組制作 2	
第6回	撮影（立案した企画に対して 個々または複数人で 撮影を行う）
第7回	編集 課題提出（撮影した素材で映像編集を行う）
第8回	講評① 提出された課題から評価の高いものを発表し、教員より講評を行う/ 中間まとめ
第9回	課題提示②/ 映像作品のオリエンテーションを行い、学生へ発注意図を説明
第10回	企画 立案（課題に対して 個々で企画を考え、絵コンテや企画書を作成する）
第11回	撮影（立案した企画に対して 個々または複数人で 撮影を行う）
第12回	撮影 編集（撮影した素材で映像編集を行う）
第13回	編集 課題提出（撮影した素材で映像編集を行う）
第14回	講評② 提出された課題から評価の高いものを発表し、教員より講評を行う/ 中間まとめ
第15回	全体まとめ 到達目標が達成できたかどうかを振り返る